

第 115 期
事業報告書

平成26年 4 月 1 日 ～ 平成27年 3 月31日

ASAHI

旭精工株式会社

事 業 報 告

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

1. 企業集団の現況に関する事項

(1) 事業の経過および成果

当連結会計年度における我が国経済は、政府の経済対策や金融対策の効果等を背景に輸出や生産が持ち直し、企業収益や雇用状況の改善に景気回復の兆しが見られるものの、一方では円安による原材料や電力料金の上昇、また消費税増税後の個人消費の低迷等、依然不透明な状況にありました。海外経済においては、米国では内需が底堅く推移し、引き続き回復基調にあります。欧州でも一部持ち直しの兆しが見られますが、依然として低調に推移しておりますし、中国を初めとした新興諸国においても成長鈍化が長引くなど、世界経済全体としては総じて回復感の弱い状況が続きました。このような経済環境の中、当社グループは今年度の方針である「お客様との距離をより以上に短縮し、100年経っても存在感を持ち続ける企業を目指す」をテーマに「意欲と実践」のスローガンのもと、9つの行動計画に取り組んでまいりました。

この結果、当期連結売上高は104億74百万円となり前期比17.4%の増収となりました。また、当期の単体売上高は77億17百万円となり前期比2.4%の増収となりました。

製品別売上高では、主力商品であります軸受ユニットが80億52百万円（前期比8.2%の増収）、クラッチブレーキ、直線運動機器を初めとする機械器具部品等は24億21百万円（前期比63.9%の増収）となり、売上高に占める構成比率は軸受ユニットが76.9%（前期83.4%）機械器具部品等は23.1%（前期16.6%）となりました。利益においては製造部門の原価低減、全部門での徹底した経費削減に努めてまいりました。その結果、連結経常利益は9億15百万円（前期7億47百万円）となり、連結当期純利益は5億20百万円（前期4億34百万円）となりました。

(2) 今後の見通し（対処すべき課題）

世界経済においては、原油価格の下落が先進国においてプラス要因となりますが、一方で、米国の金利引上げによる金融緩和の縮小やロシア等新興国の通貨安が懸念されます。また、国内経済においては経済金融政策や税制改正、雇用・所得環境の改善、円安・原油安による企業収益の改善により、緩やかな景気回復が見込まれます。当社グループとしましては、長期目標の「100年企業」を目指して、全社一丸となって行動計画ならびに各政策に取り組むとともに、会社間、部門間の連携を図りながら常に緊張感と健全なる危機感を持ち改革に挑戦し続けてまいります。また、あくまでもメイドインジャパンにこだわって日本での生産を推し進めるために工場の見える化を推進し、品質および生産性の向上を図っていく所存でございます。今期は特に《工場訓》自工程完結「品質は工程で造り込む」を強力に実践してまいります。さらに、他社との差別化を図るために既存製品の品質改良と新製品の開発に、より積極的に取り組むとともに製造、販売、管理、の各部門が一体となって改善とコスト改革を推し進め、業績のさらなる向上に努

めてまいる所存でございます。

なお、当社は従前から社外取締役の選任については検討はしてはりましたが、会社法の改正やその他の社外情勢の変化などにも鑑み、第115期本定時株主総会におきまして、社外取締役の選任をご推挙申しあげることといたしました。

株主各位におかれましては、今後とも従前とかわらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

(3) 設備投資および資金調達の状況

当連結会計年度に実施いたしました設備投資は、生産設備の合理化のためのものであり、投資総額2億53百万円は、自己資金とリース契約で賄いました。

(4) 財産および損益の状況の推移

区 分	第 112 期 (平23. 4. 1から 平24. 3. 31まで)	第 113 期 (平24. 4. 1から 平25. 3. 31まで)	第 114 期 (平25. 4. 1から 平26. 3. 31まで)	第115期(当期) (平26. 4. 1から 平27. 3. 31まで)
売 上 高	8,493百万円	8,589百万円	8,919百万円	10,474百万円
経 常 利 益	647百万円	579百万円	747百万円	915百万円
当 期 純 利 益	332百万円	327百万円	434百万円	520百万円
1株当たり当期純利益	55円63銭	54円84銭	72円78銭	87円42銭
総 資 産	8,562百万円	9,299百万円	10,170百万円	10,555百万円
純 資 産	4,193百万円	4,674百万円	5,091百万円	5,839百万円

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(5) 子会社の状況

① 重要な子会社の状況

会 社 名	資 本 金	当社の出資比率	主 要 な 事 業 内 容
AMI BEARINGS, INC.	720千米ドル	100%	軸受ユニットおよびその部品の販売
三興商事株式会社	15百万円	100%	ベアリングおよび精機部品の販売

② 企業結合の成果

当期の連結売上高は104億74百万円となり前期と比べて15億54百万円の増収となりました。また、連結当期純利益は5億20百万円となり前期と比べ85百万円の増益となりました。

連結貸借対照表

(平成27年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部	10,555,949	負 債 の 部	4,716,070
流 動 資 産	6,475,945	流 動 負 債	3,035,103
現金および預金	1,109,172	支払手形	294,929
受取手形および売掛金	1,751,048	買掛金	673,954
棚卸資産	3,268,613	短期借入金	1,364,772
繰延税金資産	298,970	未払金	62,834
その他	74,485	未払費用	181,076
貸倒引当金	△26,344	未払法人税等	181,032
固 定 資 産	4,080,004	賞与引当金	154,501
有 形 固 定 資 産	2,759,986	リース債務	73,406
建物および構築物	460,944	その他	48,596
機械装置および運搬具	442,304	固 定 負 債	1,680,967
土地	1,433,043	長期借入金	927,744
建設仮勘定	76,221	退職給付に係る負債	451,888
リース資産	307,408	未払金(役員退職金)	14,997
その他	40,064	繰延税金負債	10,055
無 形 固 定 資 産	335,905	リース債務	270,463
電話加入権	3,938	資産除去債務	5,819
ソフトウェア	11,306	純 資 産 の 部	5,839,878
のれん	320,661	株 主 資 本	5,691,329
投 資 そ の 他 の 資 産	984,111	資本金	660,000
投資有価証券	716,817	資本剰余金	557,792
保証金	38,930	利益剰余金	4,486,812
長期貸付金	8,152	自己株式	△13,274
繰延税金資産	125,957	その他の包括利益累計額	148,549
その他	94,253	その他有価証券評価差額金	64,888
		為替換算調整勘定	143,305
		退職給付に係る調整累計額	△59,645
資 産 合 計	10,555,949	負債および純資産合計	10,555,949

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額	額
売上高		10,474,225
売上原価		6,888,538
売上総利益		3,585,686
販売費および一般管理費		2,579,695
営業利益		1,005,991
営業外収益		
受取利息および配当金	6,646	
為替差益	50,364	
持分法による投資利益	17,937	
その他	30,429	105,377
営業外費用		
支払利息	48,184	
売上割引	36,027	
退職給付会計基準変更時差異償却	92,674	
持分法による投資損失	11,527	
その他	7,592	196,006
経常利益		915,363
特別利益		
前期損益修正益	6,562	
固定資産売却益	641	
その他	267	7,471
特別損失		
棚卸資産廃棄損	16,003	
固定資産廃棄損	335	16,339
税金等調整前当期純利益		906,495
法人税・住民税および事業税		402,382
法人税等調整額		△16,139
少数株主損益調整前当期純利益		520,252
当期純利益		520,252

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。